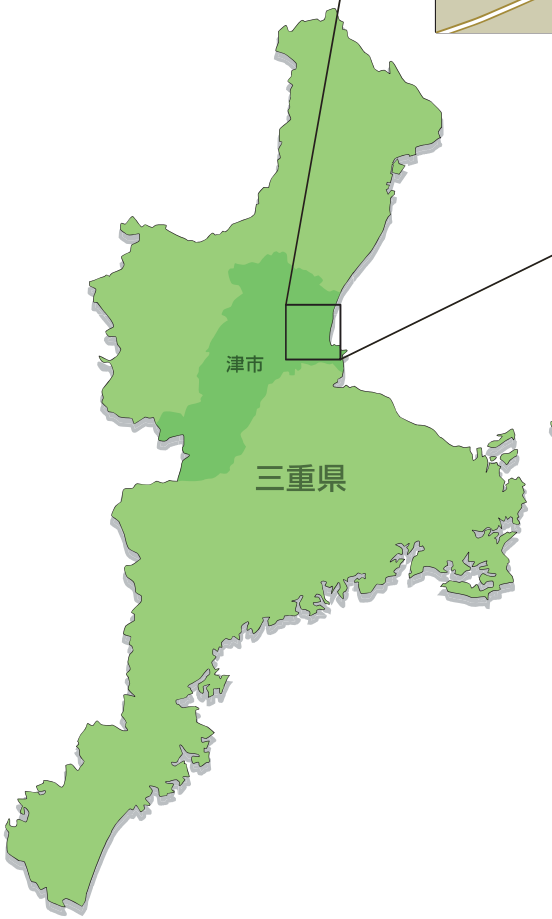
津市リサイクルセンター
所在地：津市片田田中町1342番地1

案内図



[事業主体]

津市 環境部環境施設課
〒514-0081 三重県津市片田田中町1342番地1
TEL 059-237-0671

[施工]

極東開発工業株式会社
本社
〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1-45

株式会社淺沼組
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3丁目3-44

日本土建株式会社
〒514-0834 三重県津市大倉19−1

[施工監理]

株式会社オオバ
〒153-0042 東京都目黒区青葉台4-4-12-101号

津市リサイクルセンター

津 市

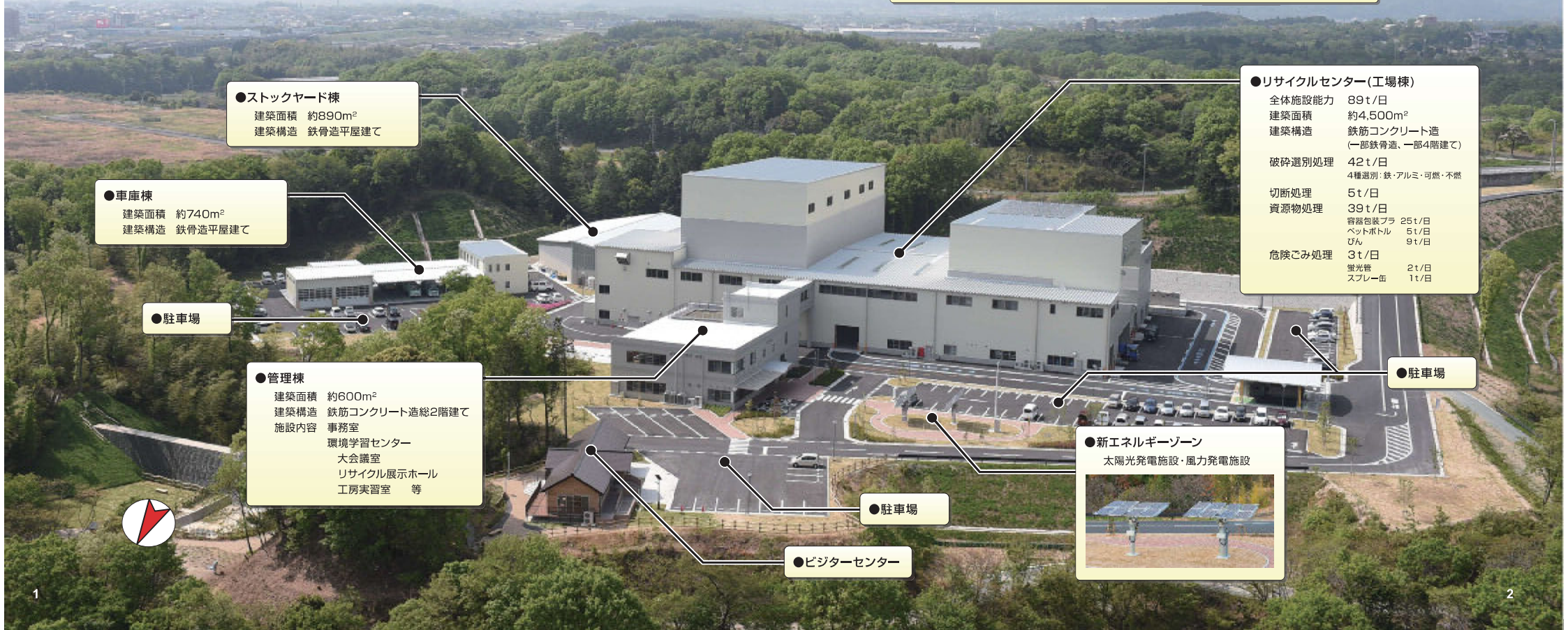
安全・安心。地域や自然との調和を 第一に考えた施設です。

■ 特 長

津市リサイクルセンターは排出される一般廃棄物のうち、分別して収集される資源物（容器包装プラスチック、ペットボトル、びん、金属）及びその他プラスチック、燃やせないごみ、危険ごみ等を受け入れ処理します。
施設には、市民への啓発や市民の参加による再資源化活動などをサポートする環境学習センターを併設するとともに、新エネルギー利用の啓発を行う施設、及びリサイクルセンターの管理運営に必用な施設（管理棟、車庫棟、ストックヤード棟等）を併設しています。

■ 施設概要

施設名称	津市リサイクルセンター
所在地	津市片田田中町1342番地1
敷地面積	102,808.28㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 一部4階建て
事業費	48億円
交付金	14億円
合併特例事業債	30億円
一般財源	4億円
着工	平成25年 6月26日
竣工	平成28年 3月11日



リサイクルセンター

金属、その他プラスチック、燃やせないごみ、可燃性粗大ごみ、容器包装プラスチック、ペットボトル、びん、危険ごみまで、多種多様なごみに対応した専用の処理ラインを備え、効率的に資源の選別・回収をしています。

金属、燃やせないごみライン

低速回転破砕機
ごみを砕き・切断し、細かくします。

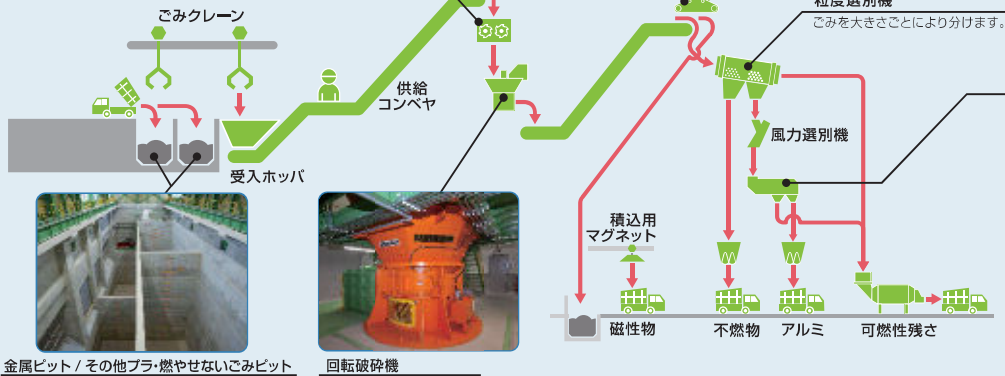
破砕物磁選機
磁石の力で、ごみの中から鉄を取り出します。

粒度選別機
ごみを大きさごとにより分けます。

破砕物アルミ選別機
アルミを弾き飛ばし、選別します。

金属ピット / その他プラ・燃やせないごみピット
ここに、ごみを一旦溜めておきます。

回転破砕機
ごみをさらに細かくします。



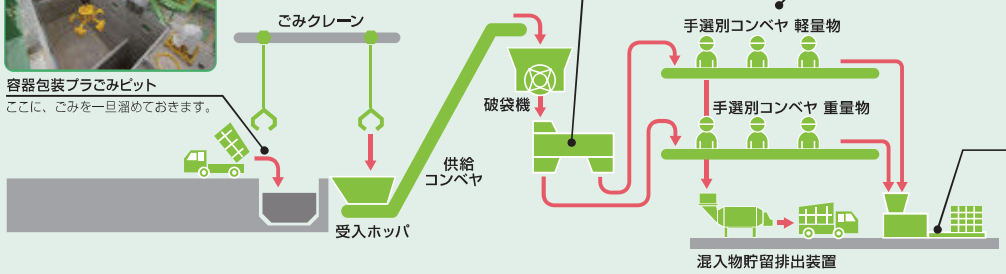
容器包装プラスチックライン

容器包装プラごみピット
ここに、ごみを一旦溜めておきます。

重量別選別装置
重いごみと軽いごみに選別します。

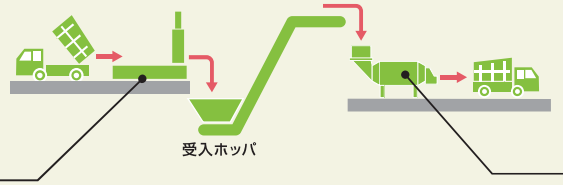
手選別コンベヤ
人の手で混入物を取り除きます。

容器包装プラ圧縮梱包機
選別回収したプラスチックを圧縮梱包します。



可燃性粗大ごみライン

可燃性粗大ごみ切断機
大型可燃ごみを、大きな刃で切断します。

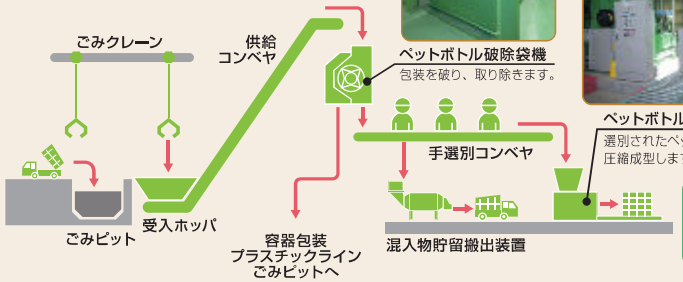


可燃性残さ貯留排出装置
切断したごみを排出します。

ペットボトルライン

ペットボトル破除袋機
包装を破り、取り除きます。

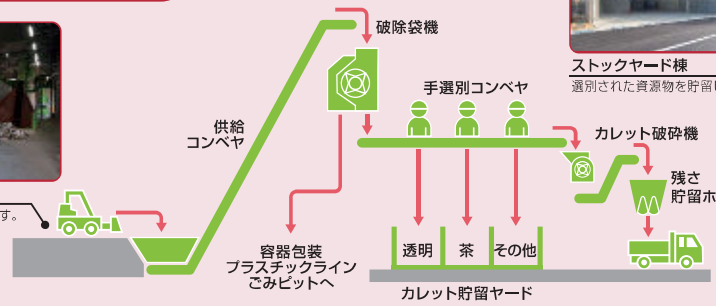
ペットボトル圧縮梱包機
選別されたペットボトルを、圧縮成型します。



びんライン

受入ホッパ
重機にてホッパに投入します。

ストックヤード棟
選別された資源物を貯留します。



危険ごみライン

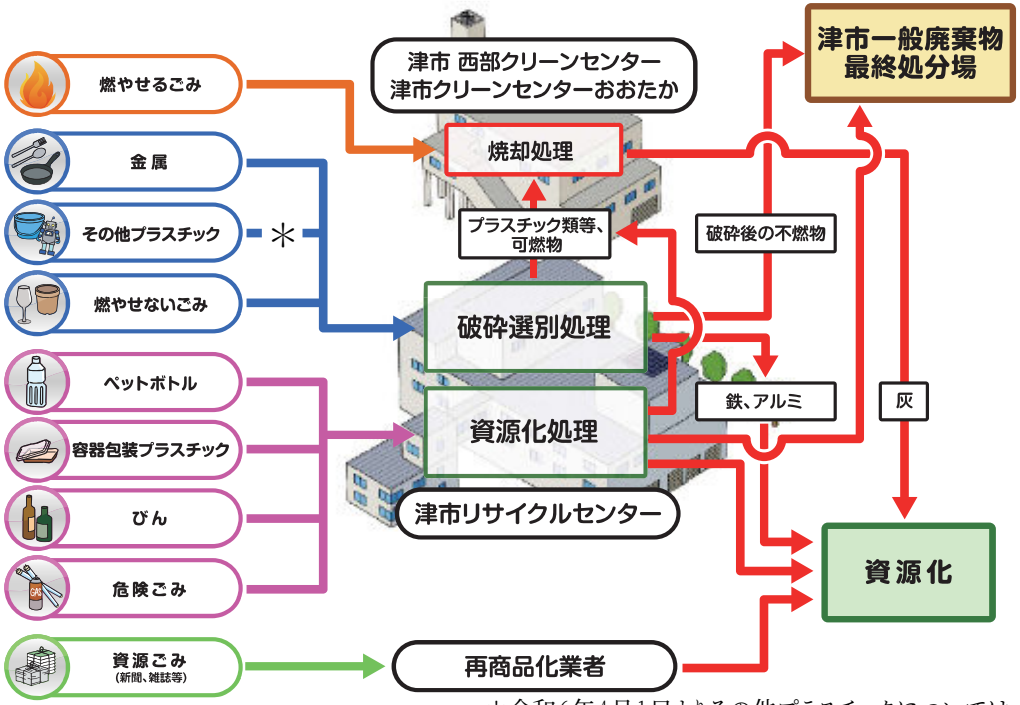
廃乾電池
廃蛍光管
廃スプレー缶
廃使い捨てライター

廃蛍光管破砕機
蛍光管を安全に砕き、処理します。

廃スプレー缶・廃使い捨てライター処理設備
それぞれ、適正に処理します。

■ 津市のごみの流れ

ここ、「津市リサイクルセンター」には、津市内のごみのうち、燃やせないごみ（陶磁器類、ガラス・鏡類、金属や、化粧品・消毒用のびんなど）と、蛍光管、びん、ペットボトル、容器包装プラスチック類などが運ばれてきて、破砕選別処理、資源化処理を行うリサイクル施設です。



＊令和6年4月1日よりその他プラスチックについては資源化処理をしています。

■ その他の施設について

津市リサイクルセンター内には、他にも以下の施設があります。学習の補助や、憩いの場所としてご活用ください。

環境学習センター

リサイクルセンターの処理の仕組みと役割、津市が目指す循環型社会への理解、リサイクルへの実践を体験装置や模型、デジタル映像装置を通して学ぶことができます。

■ 3Rについて

3Rとは、リデュース、リユース、リサイクルのこと。
3つの頭文字をとって3R（スリーアール）と呼びます。
まずは、身近にできる3Rから始めてみましょう。

Reduce（リデュース）
廃棄物の抑制
- 買い物にはエコバッグをもっていく。
- 使い捨ての商品は買わない。
- 壊れたら直して使う。

Reuse（リユース）
再利用
- 不要なものは人にあげたり別な使い道を考える。
- リターナブル容器（ビールびん、牛乳びんなど）は販売店に返却する。

Recycle（リサイクル）
再資源化
- 資源ごみはしっかり分別！
- 再生紙などの再生品を積極的に使う。

3R活動とは、上の3つのRに取り組むことでごみを限りなく少なくし、そのことでごみの焼却や埋立処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（＝循環型社会）をつくろうとするものです。

ビジターセンター

センター内には、再生品の展示や再生工房、自然観察のための学習展示など、多目的に活用できるスペースを設けています。

自然観察の森

自然観察・学習の場として、[自然観察の森]を整備しました。郷土の自然に接し、体験を通じて自然環境に理解を深めることができます。